

any

ars nova yamaguchi [エニー]

Vol. 60
2007
SPRING
[MAR-MAY]

THEATER

TOPICS

身体表現の新たな可能性をダイレクトに感じる

「YCAM パフォーマンス ラウンジ」誕生!

チェルフィッチュ「三月の5日間」

財団 山口市文化振興財団
法人 Yamaguchi City Foundation for Cultural Promotion



身体表現の新たな可能性をダイレクトに感じる

「YCAM パフォーマンス ラウンジ」誕生!

07年春よりスタートする「YCAM パフォーマンス ラウンジ」。

ここでは約100席の小さな空間で、新しい表現の可能性を探るアーティストや作品を紹介していきます。演劇、ダンスはもちろん、あらゆる表現方法を駆使した<現在>(いま)を伝える魅力的なラインナップ。舞台と客席が一体となった親密な空間で、俳優やダンサーの熱気や息づかいを直に感じ、アーティストの鋭い視点やその可能性に驚きを感じてください。



YCAM パフォーマンス ラウンジ#1

チェルフィッチュ「三月の5日間」

2007年4月29日(日・祝)

13:30開場/14:00開演

会場:山口情報芸術センター スタジオB

[チケット情報]

プレイガイド発売 3月2日(金)~

[料金] 全席自由(税込)

一般 ¥1,200 エニー会員/特別割引 ¥1,000

[ローソンチケット] Lコード63646

[作・演出] 岡田利規

[出演] チェルフィッチュ



新進気鋭の演劇ユニット“チェルフィッチュ”

プロジェクト第一弾は、演劇界はもとよりダンスや社会学の分野からも注目されている岡田利規主宰の演劇ユニット“チェルフィッチュ”から、04年に宮藤官九郎と並んで第49回岸田國土戯曲賞を受賞した「三月の5日間」を紹介します。岡田利規は、現代における若者の世界観を独自の視点であらわにする作品を展開。だらだらと手足をもてあそぶような動

き、主語が省略されて接続詞が何度も繰り返される会話といった、実際に街角で目や耳にする10代、20代の一見脱力感に溢れた様子を巧みに取り入れ(さらには増幅させ)つつ、ゆるく展開される会話の中から、その世代の焦燥感や社会への問題意識を浮き上がらせませす。その特徴的なスタイルが話題を集め、この夏、初の海外公演が決定しました。

“チェルフィッチュ” 岡田利規さんからのメッセージ



PHOTO: 佐藤晴隆

「三月の5日間」は、03年3月のイラク戦争開戦前後に渋谷のラブホテルで5日間を過ごす男女のことなどを描いた作品です。先日、この作品がTV放映されたの

を見たという内閣官房にお勤めの方と、どういわけか話す機会がありまして、その人は「三月の5日間」の頃、バグダッドで人道支援物資の手配という激務に明け暮れていたそうです。この芝居の放映を見て、とてもショックだったと言っていました。自分が命懸けで生きていたあのときを、こんなふうにだらだら過ごしていたやつらだったのかと。

それを聞いて、僕もむろんのこと「まあ、そりゃあショックですよ、……」と思いました。

ともあれチェルフィッチュは今年、この「三月の5日間」でもって、初の本格的なツアーに出かけます。春から夏にかけて、

国内外を回るので、その一番最初の公演場所がYCAMです。オープン当初からYCAMの噂は聞いていて、いつか行ってみたいと思ってました。今回このような機会を得ることができて、とても嬉しく思っています。

それにしても、あのイラク開戦からもう4年になるのですね。今年はいらんで開戦してしまったりするのでしょうか？ どうか、もうそんなことがありませんように。ピース。

岡田 利規 Okada Toshiki

劇作家・演出家。97年ソロユニット「チェルフィッチュ」始動。cheifitsch(チェルフィッチュ)とはselfishが明晰に発語されずに幼児語化した、という意味合いを持つ造語。05年「三月の5日間」により、第49回岸田國土戯曲賞受賞。演劇というシステムに対する強烈な疑念と、それを逆手に取った鮮やかな構想が高く評価された。同年7月「トヨタ・コレオグラフィー・アワード」最終選考会にノミネートされ話題を呼ぶ。

<第二弾予告「true(トゥルー)」>

現在注目の振付家・ダンサー白井剛と、「Refind Colors」や「path」でLED照明を駆使した独自の空間を創出した藤本隆行(ダムタイプ)、プログラマー・音響として国内外の様々なアートプロジェクトに参加する真鍋大度らによる新作を紹介します。上演は8月下旬を予定。お楽しみに!

■チケットのご予約・お問い合わせは中の折込ページをご覧ください。 ■いずれの公演も当日券は各種割引の対象外となります。

■特別割引は、青少年(18歳未満)、身障者及び同行の介護者1名が対象となります。 ■ローソンチケット TEL.0570-084-008

■特に記載のない場合は託児サービスあり。詳細は中の折込ページをご覧ください。

「死のバリエーション」

2007年6月2日(土) 18:30開場/19:00開演
3日(日) 13:30開場/14:00開演
会場:山口情報芸術センター スタジオA

世界的に評価の高い最先端の演劇として、ヨッシ・ヴィーラー演出「四谷怪談」、ドイツ座「エミーリア・ガロッチ」、ロベール・ルパージュ演出「アンデルセンプロジェクト」に続き、07年にご紹介するのは、「イプセンの再来」、「21世紀のベケット」と称されるノルウェーの作家ヨン・フォッセの「死のバリエーション」。

娘の死を受け入れられない夫婦役に長塚京三、高橋恵子が出演。また、NHK朝の連続テレビ小説「ファイト」の瀬川亮、「ミス・サイゴン」などミュージカルを中心に活躍する杵野麻衣など注目の俳優陣でお届けします。



[チケット情報]

エニー会員先行予約 4月7日(土)～
プレイガイド発売 4月14日(土)～
[料金] 全席指定(税込)
一般 ¥4,500 エニー会員/特別割引 ¥4,200

[作] ヨン・フォッセ

[演出] アントワヌ・コーベ
[出演] 長塚京三、高橋恵子、瀬川亮、
伊勢佳世、杵野麻衣、笠木 誠

「あいのでさんコンサート」

2007年3月23日(金) 18:00開場/18:30開演
会場:山口情報芸術センター スタジオB

NHK子供番組「あいので」でお馴染みの音楽家、野村誠、尾引浩志、片岡祐介が開館年の「しょうぎ交響曲の誕生」コンサートに引き続きYCAMにやって来ます。ホーメイや口琴の演奏、打楽器とピアノデュオ、そして風船、ペットボトル、石など日用品をもちいたさまざまな音(ノイズ)による会場との即興演奏などを繰り広げます。



野村 誠



尾引浩志



片岡祐介

[チケット情報] 好評発売中

[料金] 全席自由(税込)
一般 ¥1,000 子供(3歳以上小学生以下) ¥500 ※3歳未満無料
[ローソンチケット] Lコード63855
[出演] 野村誠、尾引浩志、片岡祐介

「イッセー尾形の とまらない生活2007 in 山口」

2007年6月30日(土) 14:30開場/15:00開演
7月1日(日) 13:30開場/14:00開演
会場:山口情報芸術センター スタジオA



社会で暮らすありふれた人々を絶妙に描き、日常生活をいとおしく浮かび上がらせるイッセー尾形の一人芝居が、新しいネタを携えて一年ぶりに登場。さらに昨年参加者から大好評をいただいた演劇ワークショップ+発表公演は、中原中也生誕100年にちなみ「中也」を題材として開催します。あなたもイッセーさんと一緒にお芝居してみませんか？

[チケット情報]

エニー会員先行予約 4月21日(土)～
プレイガイド発売 4月28日(土)～

[料金] 全席指定(税込)

一般 ¥4,000 エニー会員/特別割引 ¥3,700
[演出] 森田雄三
[出演] イッセー尾形

「生誕百年記念—“中原中也のつくり方”ワークショップ!!」

2007年6月25日(月)～29日(金) ※原則として昼・夜いずれかの回を通して参加
【昼の回】14:00～17:00/【夜の回】18:00～21:00

6月30日(土)・7月1日(日) 各日10:00～

[講師] 森田雄三・イッセー尾形
[参加費] 各日¥1,000円(※6/30、7/1は無料)

[申込締切] 6月24日(日)
※申込方法は右ページをご覧ください。

ワークショップ発表公演

2007年6月30日(土) 17:00開場/17:15開演
7月1日(日) 16:00開場/16:15開演

[料金] 全席自由(税込) ¥1,000
[出演] イッセー尾形、WS参加者

関連
企画

ycam dance studies vol.5

“珍しいキノコ舞踊団”の伊藤千枝による

「振付創作ワークショップ」

4月14日(土)・15日(日)・21日(土)・22日(日)

各日10:00~17:00 ※原則として4日間通しでの参加

会場:山口情報芸術センター スタジオB



PHOTO: David Dual-Smith

昨年の山田うんに引き続き、“珍しいキノコ舞踊団”主宰の伊藤千枝による振付創作ワークショップを行ないます。ダンスの世界で活躍するほか、映画・ミュージックビデオ・演劇への振付・出演、他アーティストとのコラボレーションなど、幅広い活動で注目される伊藤千枝と一緒に、あなたもオリジナルダンス作品を創作してみませんか? 最終日には参加者によるショーイングをYCAM各所にて開催。

初めて作品を制作する方、ダンス経験がない方もOK。次はあなたが踊る番です!

【対象】ダンス創作に興味のある方(年齢・経験は問いません)

【定員】15名

【参加費】¥3,000(通し)

【講師】伊藤千枝

【申込締切】4月7日(土)

※申込方法はページ下をご覧ください。

「踊りに行くぜ!! vol.8」参加者募集

今年もYCAMでは地元のダンスシーンに注目し、他県のダンスアーティストとの交流と公演を日本各地で行なう「踊りに行くぜ!!」の開催を予定しています。

06年には、全国から話題作品を6組選んで紹介する「踊りに行くぜ!! SPECIAL IN TOKYO」に山口選考会で選出された江藤由紀子(山口市在住)が出演。山口から飛び出す振付家も出ています。山口県下でオリジナリティ溢れるコンテンツポラリダンス活動をしている方、ぜひソノから3人以内のグループでご応募ください。6月にYCAMにて公開審査を行ないます。

【応募方法】※詳しくはwebをご覧ください。応募先はページ下に記載。

1.本企画で上演希望作品のビデオ(原則的にDVD又はVHS)(20分以内の1作品に限定)

2.作品に対するコメント 3.名前・連絡先・略歴 4.応募の時点でわかつている10月~12月の予定

【応募締切】5月14日(月) ※消印有効 【公開審査】6月10日(日)14:00~

※「踊りに行くぜ!!」本番公演への出演に関しては、主催者が出演者の交通・宿泊費およびギャランティを負担します。

山口選考会から選出の江藤由紀子出演決定!!

「踊りに行くぜ!! vol.7 SPECIAL IN TOKYO」

2007年3月2日(金)・3日(土)

会場:アサヒ・アートスクエア(東京・浅草)



PHOTO:丸尾隆一

「各ワークショップ申込方法」

葉書・FAX・e-mailにて、住所、氏名(ふりがな)、性別、生年月日(保険適用のため)、電話番号・e-mail等連絡先をご記入の上、下記へお申し込みください。

「踊りに行くぜ!! 応募先&ワークショップ宛先」

〒753-0075 山口市中国町7-7 山口情報芸術センター FAX.083-901-2216

■「踊りに行くぜ!!」係(問い合わせ e-mail:information@ycam.jp)

■「振付創作ワークショップ」係 e-mail:furituke@ycam.jp

■「“中原中也のつくり方”ワークショップ」係 e-mail:sissey07@ycam.jp

CINEMA

コミュニティシネマ山口

会場:山口情報芸術センター スタジオC

【料金】一般 ¥1,000/エニー会員・学生 ¥800/エニー学生・ジュニア・シニア・障害者と介護の同行者1名 ¥500 ※上映開始時間はお問い合わせください。

「イカとクジラ」3月2日(金)~4日(日)

(2005年/81分/アメリカ/PG-12) 監督:ノア・バームバック 出演:ジェフ・ダニエルズ

イングマール・ベルイマン監督作品 3月16日(金)~18日(日)

「サラバンド」

(2003年/112分/スウェーデン/R-15) 出演:リヴ・ウルマン



「サラバンド」

「ある結婚の風景」

(1974年/168分/スウェーデン) 出演:リヴ・ウルマン

ダンス・バレエ映画特集 3月23日(金)~25日(日)

「ステップ! ステップ! ステップ!」

(2005年/106分/アメリカ) 監督:マリリン・アグレロ



「エトワール」

「エトワール」

(2000年/100分/フランス) 監督:ニルス・タヴェルニエ
出演:マニュエル・ルグリ

音楽映画特集

3月30日(金)~4月1日(日)

「マニアの受難」

(2006年/100分/日本) 監督:白井康彦 出演:ムーンライダーズ

「ザ・ゴールデン・カップス ワンモアタイム」

(2004年/130分/日本) 監督:サン・マー・メン 音楽:ミッキー吉野

4月6日(金)~8日(日)

「ブライアン・ジョーンズ ストーンズから消えた男」

(2005年/103分/イギリス) 監督:ステイヴン・ウーリー
出演:レオ・グレゴリー、パディ・コンシダイン、デヴィッド・モリッシー

「ビバ・ジョー・ストラマー」

(2005年/62分/イギリス) 監督:マイク・パーキンソン



「フェスティバル・エクスプレス」

4月13日(金)~15日(日)

「合唱ができるまで」

(2004年/98分/フランス) 監督:マリー=クロード・トレユ

「タッチ・ザ・サウンド」

(2004年/100分/ドイツ)
監督:トーマス・リーデルシェイマー 出演:エヴリン・グレンニー、フレッド・プリス、鬼太鼓座

4月20日(金)~22日(日)

「タカダワタル的」

(2003年/65分/日本) 監督:タナダキ 出演:高田 渡、柄本 明

「フェスティバル・エクスプレス」

(2003年/90分/イギリス・オランダ) 監督:ボブ・スミートン
出演:ジャニス・ジョブリン、ザ・グレイトフル・デッド、ザ・バンド、マッシュマカーン

4月28日(土)~30日(月・祝)

「レニングラード・カウボーイズ・ゴー・アメリカ」

(1989年/78分/フィンランド・スウェーデン) 監督:アキ・カウリスマキ 出演:マッティ・ヘロンパー

「ザ・ロング・シーズンレヴェュー」(渋谷、梅田各ヴァージョン上映)

(2006年/110分/日本) 監督:川村ケンスケ 出演:フィッシュマンズ



森山直太郎ワールドツアー2007 「全ての柔らかいモノのために」

2007年5月11日(金) 18:30開場/19:00開演
会場:大ホール

02年10月、ミニアルバム「乾いた唄は魚の餌にちょうどいい」でメジャーデビューし、翌年リリースした「さくら(独唱)」が大ブレイク、叙情的な詩世界とその独自の歌声で多くの聴衆をとりこにしている森山直太郎。05年にはそれまでの活動の節目としてベストアルバム「傑作撰2001~2005」を発売。また、歌手としてのみならず、他アーティストへの楽曲提供や、最近では俳優として舞台に出演するなど多彩な表現活動で活躍する彼がついに山口にやってきました。とにかくおもしろいと評判の彼のライブは、温かくユーモアあふれるトーク、そして毎回コンセプトをもった舞台セットと衣装で会場を大いに盛り上げ、楽しいひとときの余韻をいつまでも残してくれる素敵なライブです。

[チケット情報] 好評発売中

[ローソンチケット] Lコード62816

[料金] 全席指定(税込)

一般 ¥5,880 エニー会員 ¥5,600

「綾戸智絵 Live 2007」

2007年7月7日(土)
17:45開場/18:30開演
会場:大ホール

ポップスやロック、ブルースなど、さまざまな要素を取り込み、新たな“ジャズ”の魅力を表現するシンガー、綾戸智絵。弾き語り、ゴスペル、クワイヤー、ジャズコンボなど多彩なスタイルでソウルフルな歌を紡ぐ彼女が、この度3年ぶりに山口でコンサートを行います。冗舌で笑いが溢れるトークと幅広い選曲を織り交ぜた自由奔放なステージは、ジャズ・ファンだけではなく、普段コンサートに通うことの少ない多くの老若男女に強烈な感動を与え続け幅広い世代に支持されています。ハスキーな声を震わせ全身で歌う彼女のパワー溢れるステージにぜひお越しください。



[チケット情報]

エニー会員先行予約 3月3日(土)~

一般先行予約 3月24日(土)~ ※ラグタイムTEL.083-925-6843のみ受付

プレイガイド発売 4月8日(日)~

[料金] 全席指定(税込)

一般 ¥7,000 エニー会員 ¥6,700

[ローソンチケット] Lコード63867

「ザ・アイリッシュダンス」~ラグース~

2007年7月24日(火) 18:00開場/18:30開演
会場:大ホール



今、大人気のアイリッシュダンス。アメリカ、オーストラリア、フランス、デンマーク、ポーランド、ドイツ、イタリア、ギリシャと各国でのツアーで大絶賛を浴び、NHKのドキュメンタリーでも取り上げられた噂のカンパニー“ラグース”が再来日。山口でもその素晴らしいダンスを披露します。歌と音楽そしてダンス、三拍子そろったエンターテインメントをお楽しみください。

[チケット情報]

エニー会員先行予約 4月15日(日)~

一般先行予約 4月21日(土)~

※ラグタイムTEL.083-925-6843のみ受付

プレイガイド発売 4月29日(日)~

[料金] 全席指定(税込)

一般 S席 ¥7,000 A席 ¥5,500 B席 ¥4,000

※エニー会員は各¥300引き

中也生誕百年祭2007記念事業

明治40年(1907)、山口市湯田温泉に生まれ、ひたすら詩作に打ち込んだ中原中也。30歳という若さでこの世を去った後も、詩集『山羊の歌』、『在りし日の歌』などに残された彼の作品は徐々に評価され、現在では日本の近代詩を代表する抒情詩人ともいわれています。

生誕百年を迎える平成19年(2007)、中也の故郷山口市湯田温泉を中心に、文学、音楽、美術等、様々な分野で記念事業が行なわれます。この記念すべき年に、ぜひ中也の世界に触れ、その詩の魅力を感じてみませんか。



第12回中原中也賞贈呈式& 中也生誕百年前夜祭

2007年4月28日(土) 会場:山口市民会館 大ホール

中原中也賞の贈呈式とあわせ、ノーベル文学賞受賞作家大江健三郎氏による講演会と、その息子大江光氏作曲の中也の詩による楽曲の演奏会を行ないます。また、加藤舞踊学院が中也詩「春日狂想」をテーマとした舞台公演を披露します。

[参加費] 有料

「生誕百年記念—“中原中也の作り方” ワークショップ!!」+発表公演

2007年6月25日(月)~7月1日(日) ※6/30、7/1は発表公演
会場:山口情報芸術センター スタジオA

イッセー尾形の公演を演出している森田雄三が、演劇未経験の人たちと一緒にお芝居を作りあげる演劇ワークショップを、昨年に引き続き山口情報芸術センターで開催。今回は中也生誕百年祭の事業として、中也をモチーフに行ないます。遅刻・早退OK。ぜひご参加ください。

[講師] 森田雄三・イッセー尾形

※申込方法など詳しくはTHEATER INFORMATIONページをご覧ください。

空の下の朗読会(中也誕生日)

2007年4月29日(日・祝) 会場:中原中也記念館 前庭

中也が生まれた日、中也が生まれた場所に建てられた中原中也記念館前庭において、一般参加者による詩の朗読と、ゲストの詩人やアーティストによる朗読や音楽のコンサートで、中也百歳の誕生日を盛大にお祝いします。

[参加費] 無料 [ゲスト出演] おおたか静流、和合亮一

中原中也生誕百年実行委員会主催によるイベント

サーカス&コンサート

2007年4月29日(日・祝)~5月6日(日)
会場:山口市中央公園 特設サーカステント内

中也の詩「サーカス」にちなみ、空中ブランコなどのサーカスの公演と、連日様々なアーティストを迎えて、朗読や音楽等のコンサートを開催します。

[ゲスト出演] あがた森魚、友川かずき、ハナレグミほか多数

[参加費] 有料

[問い合わせ]

中原中也生誕百年実行委員会(中原中也記念館内) TEL.083-932-6430 <http://www.chuya100.jp>

▼ 中原中也記念館 [入館料] 一般¥310 大学生¥210
小・中・高校生¥150 70歳以上無料

「中原中也とフランス文学」

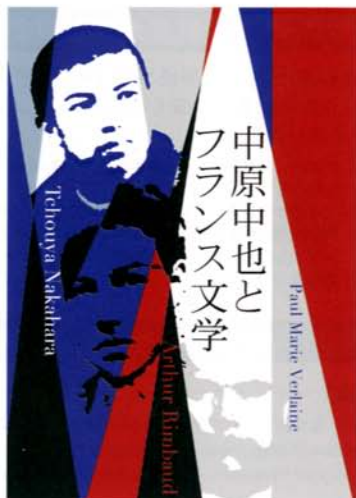
開催中～2008年2月17日(日) (特別企画展開催中を除く)

詩人中原中也とフランス文学との関わりは、京都時代に富永太郎を通じて知ったアルチュール・ランボー等の象徴詩に始まり、上京後の小林秀雄らを中心とする交友圏の中で広がり深まりを見せました。その成果は『ランボオ詩集』などの翻訳だけでなく、中也自身の詩作にも深い影響を与えています。

この度の展示では、フランス詩の原書や翻訳草稿などを通じて中也とフランス文学との関わりを紹介するとともに、中也が憧れ続けたフランスの地で2005年に刊行されたフランス語訳『中原中也詩集』の世界を紹介します。生誕百年を迎えた今年、フランスとの文学的交流を果たしつつある中也の世界をお楽しみください。



フランス語訳『中原中也詩集』



企画展I 「第12回中原中也賞」

2007年4月17日(火)～5月27日(日)

新しい詩の世界を切り開いていく詩集に与えられる中原中也賞。2月17日の選考会で決定したばかりの、第12回受賞詩集とその作者の世界を、それにまつわる品々で紹介し、また、過去の受賞詩人の現在の活動状況もあわせて紹介し、詩人達の表現がどこへ向かっているのかを追っていきます。

平成19年度市民文化活動支援事業募集!!

財団法人山口市文化振興財団は、音楽、演劇、美術など市民のみなさんの自主的で創造的な文化活動を支援し、創造性豊かな人材の育成を図るとともに、山口独自の文化の創造・発信を目指します。助成額は対象経費の2分の1以内の額(上限50万円)。あなたの斬新でユニークな企画をお待ちしています。

■申請書・要項の入手方法

財団事務局(山口情報芸術センター1F)のほか、山口市会館、クリエイティブ・スペース赤れんが、市内各公民館などで配布中。

■受付期間

2007年3月1日(木)～30日(金)
各日10:00～19:00(火曜および3/7～9は除く) ※3/10は17:00まで
窓口・郵送いずれの場合も財団事務局に事前に電話連絡し、来られる日時を決定後、応募書類をご持参またはご郵送ください。
(※3/30消印有効)

■提出先

〒753-0075 山口市中国町7-7 山口情報芸術センター内
(財)山口市文化振興財団 事務局総務担当

■お問い合わせ

(財)山口市文化振興財団 事務局総務担当
TEL.083-901-2222 FAX.083-901-2216

財団各種情報・お知らせ

any(エニー)会員制度が変わります

当財団友の会「any」は、平成19年4月から新会員制度を導入します。

旧制度よりも年間費がお安くなるほか、インターネットで24時間いつでもチケット予約や会員の入会・更新手続きができるようになります。

[入会金] 500円 ※更新されるときは年間費のみ。ただし、会員期間内に更新されなかった場合は入会金をお支払いいただきます。

[年間費] 1,500円

[会員期間] 入会日から翌年の入会月末まで(例:2007年4月入会の場合、2008年4月末日までが有効期限)

[会員特典] 財団主催・共催の公演チケットの先行予約および割引購入(公演によっては適用されないものもございます)、情報誌の無料送付、コミュニティシネマ山口・中原中也記念館招待券プレゼントなど

[申込方法] 電話またはホームページ(www.ycfcp.or.jp)で会員登録手続きを行なうことができます。 ※詳しくはお問い合わせください。

財団主催・共催公演チケットのお求めについて

[予約方法]

■インターネット予約 ※2007年4月1日以降発売の公演が対象。

財団ホームページ <http://www.ycfcp.or.jp> にてご予約ください。

※エニー会員の方は先行予約開始日の10:00より、一般の方はプレイガイド発売日の10:00より受付開始。

■電話予約

財団チケットインフォメーションにて受付しております。TEL.083-920-6111
(10:00~19:00 ※火曜休み 祝日の場合はその翌日 ※3/7・8は臨時休館)

■窓口購入

山口情報芸術センターチケットカウンターにて直接購入が可能です。
(10:00~19:00 ※火曜休み 祝日の場合はその翌日 ※3/7・8は臨時休館)

※先行予約初日はお電話またはインターネット予約のみの受付となり、窓口のご利用は翌日からとなります。

[支払方法]

■クレジットカード

インターネット・電話でチケット予約された際にご利用いただけます。チケットのお受取はお近くのセブンイレブンまたは山口情報芸術センターチケットカウンターにお越しください。

■セブンイレブン

インターネット・電話でチケット予約された際に、お近くのセブンイレブンでお支払いいただけます。チケットはその場でお受取ください。

■窓口 ※上記予約方法「窓口購入」参照

託児サービスのご案内

山口市文化振興財団では託児サービスを行なっています。

※おもちゃ、おむつ、着替え等必要なものはご持参ください。お子様の食事は事前に済ませておいてください。

■公演開催時

[対象] 0才(6ヶ月)以上

[料金] お子様1人につき500円、2人目以降は1人につき300円

[時間] 開演の30分前から終演後30分まで

[申込方法] 公演日の1週間前までに上記チケットインフォメーションまたは山口情報芸術センターのチケットカウンターにてお申し込みください。

※公演によっては行なわない場合もございます。事前にお問い合わせください。

■山口情報芸術センター キッズスペース

[対象] 1才以上

[料金] 1人につき30分150円

[時間] 13:00~17:00(山口市立中央図書館休館日を除く)1回2時間まで

[申込方法] 当日山口情報芸術センターチケットカウンターにてお申し込みください。満員の際は順番制となります。

特別割引について(対象は山口情報芸術センター公演のみ)

山口情報芸術センターのみの販売となります。

青少年(18才未満)、シニア(65才以上)、障害者及び同行の介護者1名が対象。年齢の分かるもの、障害者手帳等をご提示ください。 ※当日券は割引の対象外

■山口情報芸術センター

〒753-0075 山口市中国町7-7
TEL.083-901-2222/FAX.083-901-2216
開館時間 ▶ 10:00~20:00
チケット取り扱い時間 ▶ 10:00~19:00
休館日 ▶ 火曜(祝日の場合はその翌日)、年末年始
※3/7・8は臨時休館
※3/10は17:00まで開館

■中原中也記念館

〒753-0056 山口市湯田温泉1-11-21
TEL.083-932-6430/FAX.083-932-6431
開館時間 ▶ [5月~10月] 9:00~18:00(入館は17:30まで)
▶ [11月~4月] 9:00~17:00(入館は16:30まで)
休館日 ▶ 月曜日(祝日の場合はその翌日)、毎月最終火曜日、年末年始



■山口市民会館

〒753-0074 山口市中央2-5-1
TEL.083-923-1000/FAX.083-928-8488
開館時間 ▶ 8:30~17:00
チケット取り扱い時間 ▶ 10:00~17:00
休館日 ▶ 年末年始

財団 山口市文化振興財団
法人 Yamaguchi City Foundation for Cultural Promotion

〒753-0075 山口市中国町7-7(山口情報芸術センター内)
TEL.083-901-2222 FAX.083-901-2216
zaidan-info@ycfcp.or.jp <http://www.ycfcp.or.jp/>

[ars nova](アルス ノヴァ:ラテン語)
14世紀の音楽史用語で「新芸術」の意

YCAM ART 2007

Line Up

2007年度のアート展示では、最新のメディア技術を活用したYCAMオリジナル制作によるスケールの大きなプロジェクトを2つ企画しています。それぞれ全く新しい知覚体験があなたを待っています。

(あくまで予定のため、予告なく変更または中止する場合があります。)



コーポラ・イン・サイト

池田亮司 / 新作サウンド インスタレーション展

2008年2月初旬～5月初旬(予定)

会場: 山口情報芸術センター
スタジオB、ホワイエ、中庭ほか

パリを拠点とし、サウンドを周波数による情報デザインとして考える「ミニマル音響派」を世界的に代表するアーティスト、池田亮司による新作サウンドインスタレーションの個展。オーディオビジュアル(音響と映像)の新たな関係性を追求し、メディア表現と人間の知覚の可感領域の双方の限界への接近を試みる作品です。滞在制作による国内初の本格的な展覧会で、今後世界的に巡回します。新作LIVEイベントも同時開催予定。

doubleNegatives Architecture 「コーポラ・イン・サイト Corpora in si(gh)te(仮題)」展

2007年10月初旬～12月(予定)

会場: 山口情報芸術センター スタジオB、ホワイエほか

空間および環境を認識するプロセスや装置を含めた総体を「建築」とみなし、新たな情報技術やメディアを導入する建築グループ「ダブルネガティブスアーキテクトチャー」による新作インスタレーション。YCAM敷地内に、周囲の環境や気象情報を取り込みながら生成変化していく不可視の「建築」を仮構し、独自の空間表記・VR技術、ネットワーク技術を通じて、リアルタイムで変容する様態を明らかにしていきます。

「シリーズ 映画史を読み解く#6」映画上映+レクチャー

溝口健二監督特集

2007年5月4日(金)～27日(日) 金・土・日のみ
会場: 山口情報芸術センター スタジオC

【料金】各回¥700(限定100名)
通し券あり(6枚つづり¥3,000・限定30)
※詳しくはwebをご覧ください。

日本映画史上最大の巨星、溝口健二の没後50年を記念し、ニュープリントを中心にセレクトした12作品を特集上映します。溝口が飽くなき探求を行なった独特の世界観とリアリズムをご堪能ください。



meets the artist 2007

2007年半年～通年

「meets the artist」が1年ぶりに復活します。

「meets the artist」とは、04年度からスタートしたシリーズで、半年～1年といった長期的な関係性の中で、市民コラボレーター(ボランティア)が、1名または1グループのアーティストと、創造的な活動を実践していくプロジェクトです。1日限りのワークショップでは物足りないという方や、アーティストってどういう発想をしているのだろうかなどと考えている人は、アーティストと共にじっくりと活動できる「meets the artist 2007」にご期待ください。

活動の内容については、詳細が決まり次第、チラシやホームページ等でお知らせします。

Scopic measure

YCAM館内各所を使って、情報メディアを利用したユニークな体験型のアート作品を紹介していく新シリーズがスタートします。友だちと楽しみながら、情報デザインの今はここがすごい!というアート体験をしてみませんか。

(作品は順次展示される予定です。詳しくは事務局までお問い合わせください。)

「Driftnet」(2006)

by 平川紀道

人間は、インターネットなどの実体のないヴァーチャル空間になぜ空間性を感じるのでしょうか。この作品は、ふだん見えていないネットのトレースデータが多数集積される様を可視化するために、波打ち際のようにつねに変化しながら寄せては返す運動の映像として表現しています。データとして絶え間なく寄せる波に、情報の姿を想像してみてください。

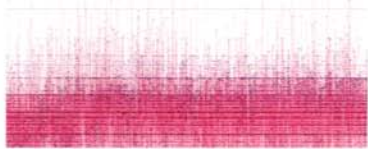


PHOTO:小原大貴

「MaSS 2007 ver.」

by MaSS dev. + YCAM InetrLab

Mass (Market as Speed Spectra) ネット・アズ・スピード・スペクトラ)は、金融市場の活性度を、情報技術で表現した作品です。米国の[NASDAQ]という電子市場のデータを光と音に変換して実際の取引と同じ速度で再生する作品です。株取引に参加している人々の経済活動を生々しく表現されており、動物の運動神経のような経済の息遣い(リズム)を感じることができるかもしれません。「時間旅行展」で発表されたものの大幅なアップデート版です。



シリーズ scopic measure(スコピックメジャー)

長期展示作品

10:00~20:00 入場無料

会場:山口情報芸術センター 館内各所

[制作協力] YCAM InterLab

「KODAMA」(2005-2007)

by 山川K.尚子



©Hisako K. Yamakawa

伝承や物語の中で、畏敬の存在として考えられていた「KODAMA(木霊)」をモチーフに、「人の声」という透明なメディアが、空間の中に漂っているように表現したインタラクティブ作品。'KODAMA'たちは体験者が森の中で出した声を収集し、人の気配がなくなると、それまでに捕まえた声を持ち出して遊び始めます。さらに息を潜めていると...。静謐かつナラティブな森の中で繰り広げられるいたずら好きな「KODAMA」の世界を、ぜひ体験してみてください。

「モジュローブ (Modulobe)」

by 産業技術総合研究所+YCAM InterLab

昨年11月の国民文化祭で発表され、大好評を博した「モジュローブ」。立体的な動くオブジェを、コンピュータ上で簡単に作ることができ、子どもから大人まで大人気のソフトウェアです。ここでは、前回の展覧会の成果を取り入れたアップデート版を展示します。(今後、教育プログラムとして、さらに汎用性のあるものに発展させていく予定です。)まだ触ったことがない人も、ぜひ体験してみてください。



「テラノドン」by ヒロシ

坂本龍一+高谷史郎/新作インスタレーション

「LIFE - fluid, invisible, inaudible ...」

2007年3月10日(土)~5月28日(月)

12:00~20:00(3/10は17:00まで) 入場無料

会場:山口情報芸術センター スタジオA
rsst.ycam.jp

「laptop concert:坂本龍一+高谷史郎」

2007年3月10日(土) 19:00~20:20

会場:山口情報芸術センター ホワイエ(全席自由・限定300)

[料金] 一般¥2,000 エニ会員・特別割引 ¥1,500

「artist talk/坂本龍一×高谷史郎」

2007年3月11日(日) 14:00~15:30

会場:山口情報芸術センター ホワイエ(全席自由・限定300)

[司会] 浅田 彰 [料金] 無料 ※事前にお申し込みが必要です。

高谷 史郎 Takatani Shiro

京都在住。映像クリエイター。84年京都市立芸術大学生を中心に結成されたアートグループ「ダムタイプ」の創設メンバーとしてビジュアルワークを総合的に担当し、現在はディレクションに関わる。02年京都市芸術新人賞受賞。ソロワークとして、98年インスタレーション「frost frames」、00年「optical flat」(国立国際美術館蔵)、06年「Camera Lucida (Australia version)」(オーストラリア)などがある。



坂本 龍一 Sakamoto Ryuichi

NY在住。音楽家。78年細野晴臣、高橋幸宏と「YMO」を結成。解散後も、音楽・映画・出版・広告などメディアを越えた活動を展開。87年映画「ラストエンペラー」の音楽で、アカデミー賞、グラミー賞ほか受賞。9.11同時多発テロをきっかけに、論考集「非戦」を監修。自然エネルギー利用促進を提唱するアーティストの団体「artists'power」を創始。06年新たな音楽コミュニティーの創出を目指し「commons」を設立。



T 空を見ること。

や、世界の先住民族の文化も、お寺とかお庭とかお香とか。そして、縄文文化

S さて…。毎朝散歩をしている。散歩をする時、鼻歌を歌うようにしている。毎日、その日の鼻歌の曲目を日記に書いている。ちなみに、今日の鼻歌はベートーベンの「第五交響曲」の二楽章だった。何が出てくるかは、自分でも歩き出さないと分からない。あとは…お寺とかお庭とかお香とか。そして、縄文文化

Q7 最近個人的にはまっていることは何ですか。

T 熱があるときに必ず見るのですが、象のように体が重くなり、脚が蚊の様に先細りしているのに、足場の悪い所を歩いている不安定な夢。サルバドール・ダリの「目をさます一秒前、ザクロの実の周囲一匹の蜜蜂が飛びまわったために見た夢」を見たときに、びっくりしました。

S 忘れた。確か、グレン・グールドと蜂と少年が出てくる。

Q6 これまでに見た最も独創的な夢を一つあげるとすれば。

T 本当に良い考えが見つかるまで、よく考える事。

Q5 作品を作る上で一番大切にしている部分は何ですか。

域の考察から、何か今までとは違う考え方というか、感じ方を創りだせないか?と考えています。

T 悪転しているのは、このままいくと地球に人間が住めなくなることがわかっているのに、突き進んでいること。でも、人間がいけない未来の地球を想像し、それをなんとか食い止める事が出来ないかと考える人が少しずつ増えてきていることが、僅かですが好転しているのでは…。

S 好転していることは、ない。悪転していることは、この1万年ぐらい、人類という種がこの惑星にはびこっていること。特にこの50年、人類のために絶滅させられた他の種は多い。人類はいずれ、遠からずしっぺ返しを受けるでしょう。

Q10 現在、地球上で好転していること、と悪転していること。

T 山口市は思っていたより小さな町。山が町に迫っている。YCAMは人が適度に集まっけていい感じ。

S 温泉。カッコいい図書館。弥生人のDNA。

T キリバス、マーシャル諸島、シシユマレフ島、ツバル：地球温暖化による海面上昇の影響で、今後100年以内に消えてしまうかもしれない海抜の低い場所。

Q8 最近気になる都市、または場所は?

S 都市としては、ベルリン。場所としては、縄文遺跡。

LIFE -fluid, invisible, inaudible...

坂本龍一+高谷史郎が生み出すアモルファスな世界。

聴こえない「音」-見えない「映像」-流動の臨域...

坂本龍一+高谷史郎の滞在制作によるコラボレーションがYCAMで実現!

彼らが再生、新生させる流動的な世界とは...

新たな「LIFE」がここからスタートします(ワールドプレミア)。

作品制作中の、坂本龍一(以下S)、高谷史郎(以下T)両氏に、現在関心を持っていること、今回の新作についてなど、さまざまな質問を投げかけ、それぞれに語っていただきました。

Q1

お互いに出会ったきっかけは何でしたか。

S 確か、多くのコンサートに、浅田(影)さんが見に来た時、一緒に高谷さんを連れてきたのが最初ではなかったでしょう。ちなみに、古橋悌二※とはNYのぼくの家で会ったのが最初です。その後、古橋くんが高谷さんが一緒に来たりしました。(※ダムタイプの中心メンバーとして活躍。95年、HIVによる敗血症のため急逝)

T 「BEAUTY」のコンサートの終演後、浅田さんに紹介してもらったのが最初だったのでは？

Q2

お互いの作品で、最も気に入っている作品は何でしょう。

S うーん、迷うけどやはり「SN」かな。いっぱいあるので、絞り込めませんが、「SMOOGIE」は、マスターリング直後にNYのスタジオで、古橋と一緒に聞かせてもらった思い出があり特別です。

Q3

今回のプロジェクトのスタートや発想について教えてください。

S もともと、99年に初演した多くのオペラ「YCAM」の映像監督を高谷さんに担当してもらいました。その後、「YCAM」のDVDや、改訂版を作ろうとしていたが、お互いに忙しく果たせていない。今回初めて、「YCAM」の一つの改訂版として、このインスタレーション・ヴァージョンを作ろうとしています。これが、果

たしてDVDの基になるかどうかは、まだ未知数ですが。

T 99年の「YCAM」制作時にできた、膨大な資料や使われなかった映像、それらを取り込み再構築した作品を新たに作りたいということとは、以前からずっと話していて、今回の作品は、そのことをベイスにスタートし、最終的には音と映像の実験的なインスタレーションに構成しなおされることになりました。

Q4

タイトルに込めようとしているメッセージは？

S ぼくも高谷さんも、現在、見えるものと見えないもの、聴こえるものと聴こえないもの、認識できるものと認識できないもの、判別できない領域に興味がある。これは、ぼくとしてはカールステイン(ニコライ)とのコラボレーション以来、持続している関心なのですが、それを表す一つの形として、今回は人工的に作り出した霧を使おうということになったのです。アモルファス形の定まらないもの。例えば匂いも形がないですが、一に惹かれます。また、水のような形が定まらないもの。音は聴こえますが、形が見えません。匂いと似ています。では、見えるということも、実は同じことなのではないでしょうか？

T 「命」「生」を表す「YCAM」という言葉からは素直な感じを受けます、等身大な感じですが、「流動性」「見えない映像」「聴こえない音」という言葉は、坂本さんとのメールのやり取りの中から出てきた言葉で、複雑で曖昧で不確定な領域のことです。この連続的に変化していく領

any

ars nova yamaguchi [五二一]

Vol. 60
2007
SPRING
[MAR-MAY]

TOPICS

坂本龍一＋高谷史郎が生み出すアモルファスな世界。
聴こえない「音」－見えない「映像」－流動の臨域…

LIFE -fluid, invisible, inaudible...

new installation commissioned by YCAM